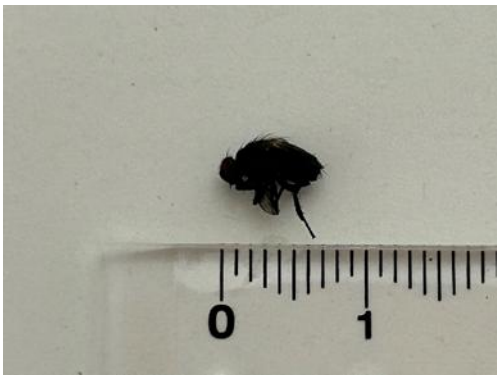
令和７年12月10日

学校給食における異物混入の発生について(報告)

令和７年11月11日（火）、寄宮中学校において、給食に異物が混入した事案について、調査の結果をご報告いたします。

詳細については、以下のとおりです。



１　発生場所・日時

那覇市立寄宮中学校

令和７年11月11日（火）12時55分頃

２　発見された異物（右写真参照）

約7ｍｍの衛生害虫

３　発生状況等

生徒が食缶の蓋を開け、おたまを取り配膳しようとした際、水面に異物を発見。

担任へ報告し、異物が入った食缶は手をつけず、食していない。

４　健康被害

健康被害はありませんでした。

５　原　　因

食缶へ配缶する際に混入したか、配缶中に蓋を閉めるまでの間に混入したか、混入の原因は特定できませんでした。

異物が加熱されたか推定するカタラーゼ試験を実施。検査の結果、「加熱されていない可能性が高い」という見解であったので、調理中に混入した可能性は低いと考えられる。

６　発生後の対応

（１）健康状態の確認

生徒からの健康被害の訴えは12月5日現在のところありません。

（２）学校長宛ての通知

11月19日（水）寄宮中学校長宛てにお詫びの文書をお渡ししております。

７　再発防止策

各作業工程において目視確認の強化・徹底を図り、調理場内へ異物が侵入しないようドアの開閉は最小限にする。今後とも、安全・安心な学校給食の提供に努めてまいります。